

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月6日

上場会社名 阪和興業株式会社
 コード番号 8078 URL <http://www.hanwa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北 修爾
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経理統轄 (氏名) 秋元 哲郎
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東大

TEL 03-3544-2190

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	438,664	—	12,117	—	11,227	—	6,429	—
20年3月期第1四半期	379,274	27.7	7,065	38.9	6,757	25.4	4,484	41.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	30.42	—
20年3月期第1四半期	21.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	551,536	107,173	19.3	503.74
20年3月期	482,014	100,926	20.7	473.70

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 106,453百万円 20年3月期 100,111百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	875,000	—	20,100	—	18,100	—	10,200	—	48.26
通期	1,808,000	19.9	33,900	43.0	30,000	41.1	17,400	32.7	82.33

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 211,663,200株 20年3月期 211,663,200株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 335,187株 20年3月期 324,332株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 211,338,509株 20年3月期第1四半期 211,370,844株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考)平成21年3月期の個別業績予想 (平成20年4月1日 ~ 平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	860,000	—	19,300	—	17,700	—	10,000	—	47.32
通期	1,780,000	20.9	32,300	42.5	29,000	40.9	16,800	33.1	79.49

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

1. 連結経営成績に関する定性的情報

【経済環境】

当第1四半期における世界経済は、サブプライムローン問題による米国経済の減速が明らかになる中、信用収縮回避のための金融緩和が原油や食糧など資源価格の一層の高騰を招くなどの混乱した状況にありましたが、実需については新興国中心に緩やかな成長を維持しました。一方、国内経済におきましては、新興国など外需向け中心の製造業は堅調に推移したものの、資源高からの原材料や商品価格の上昇により企業収益や個人所得が圧迫され、設備投資や住宅着工、個人消費などの内需は停滞局面にありました。

【業績の概況】

このような環境において、当第1四半期の連結売上高は、鉄鋼製品や石油製品価格の上昇により、前年同期比15.7%増の4,386億64百万円となりました。また利益面でも、鉄鋼事業の伸長により、営業利益は前年同期比71.5%増の121億17百万円、経常利益は前年同期比66.2%増の112億27百万円、第1四半期純利益は前年同期比43.4%増の64億29百万円となりました。

【セグメント別の状況】

鉄鋼事業においては、タイトな需給環境や鉄鋼原料価格の高騰により鋼材市況が急騰する中、積極的な販売に努めたことなどにより、売上高は前年同期比27.0%増の2,378億8百万円となりました。また、営業利益は鋼材市況の急騰による当社在庫商品の販売益が貢献し、前年同期比83.9%増の81億3百万円となりました。

金属原料事業においては、ニッケル価格の下落とステンレス市況の低迷からニッケル系原料の販売が減少したことなどにより、売上高は前年同期比15.0%減の537億59百万円となりましたが、営業利益については合金鉄類の価格上昇などが寄与し、前年同期比48.3%増の25億80百万円となりました。

非鉄金属事業においては、銅やアルミなどの需要動向が芳しくない状況で推移したことにより、売上高は前年同期比2.8%増の189億23百万円に留まり、営業利益はアルミスクラップ関連の収益性が低下したことなどから、前年同期比52.8%減の4億76百万円となりました。

食品事業においては、前期に引き続き国内消費に盛り上がりを欠き、商品価格も概して低迷したことにより、売上高は前年同期比5.9%減の228億25百万円となりましたが、営業利益は一部商品の採算が改善したことなどから、前年同期比191.9%増(約2.9倍)の7億24百万円となりました。

石油・化成品事業においては、原油価格が上昇する中、船用石油の拡販などにより、売上高は前年同期比32.0%増の917億16百万円となりました。営業利益は重油の採算が改善したことなどから、前年同期比66.3%増の8億73百万円となりました。

その他の事業においては、主に木材事業での住宅着工減少による木材製品市況の低迷や子会社のアミューズメント事業の不振により、売上高は前年同期比18.1%減の136億31百万円となりましたが、営業利益は機械部門の採算向上などにより、前年同期比73.3%増の7億85百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

【総資産・負債純資産の状況】

当第1四半期末の総資産は、売上高の増加に伴う売上債権の増加や投資有価証券の増加などにより、前期末比14.4%増の5,515億36百万円となりました。

負債は、活発な営業活動と仕入れ価格の上昇に伴う仕入債務の増加や運転資金需要の増加による短期借入金や商業ル・ペーパーの増加などにより、前期末比16.6%増の4,443億63百万円となりました。この結果、ネット有利子負債は、前期末比24.0%増の1,882億97百万円となりました。

純資産は、第1四半期純利益の積み上がりなどにより、前期末比6.2%増の1,071億73百万円となりました。この結果、当第1四半期末の自己資本比率は、前期末の20.7%から19.3%になりました。

【キャッシュ・フローの状況】

当第1四半期においては、活発な営業活動や販売価格の上昇に伴う売上債権の増加により、営業活動によるキャッシュ・フローは、252億35百万円の減少となりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出などにより、111億89百万円の減少となりました。一方、財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金や商業ル・ペーパーの発行による調達により、364億48百万円の増加となりました。

これらの結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ69百万円増加し、142億48百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

【当期の見通し】

サブプライムローン問題を端緒とした米国経済動向の減速が顕在化する中、米国当局の適切な対応が期待されますが、回復への確たる兆しはまだ見ておりません。また、旺盛な資源需要に対する供給力懸念と金融緩和からの投機資金流入による資源価格の急騰が、堅調に推移していた新興国の経済成長にも影響を及ぼすことなどから、当期の世界経済につきましては、先行きの不透明な状況にあります。

一方、日本経済につきましても、新興国向け需要により景気を下支えてきた国内製造業の状況に翳りが見られ、米欧向け需要動向の低迷や原油をはじめとする原材料価格の高騰、円高傾向などが企業収益を圧迫する他、建設需要や個人消費の低迷などにより、経済成長の減速も懸念されます。

このような経済環境の中で、当社グループの足元での事業環境につきましては、各事業分野において原材料価格の上昇などにより、仕入コストが上昇しており、特に鉄鋼事業においては、鋼材価格がかつてない高水準に達しております。当社グループといたしましては、その需要動向の的確な把握とともに、適正な販売価格の実現に努めることにより、収益確保に注力していく所存です。

このような状況の下、当第1四半期の業績経過は、期初予想に比較し、鉄鋼事業が好調に推移していることなどから、平成20年5月15日発表の業績予想を修正いたしました。現時点における通期の連結業績は、売上高1兆8,080億円(対前期比19.9%増)、営業利益339億円(対前期比43.0%増)、経常利益300億円(対前期比41.1%増)、当期純利益174億円(対前期比32.7%増)を見込んでおります。

4. その他

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(四半期財務諸表に関する会計基準の適用)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(会計基準等の改正に伴う変更)

①重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

たな卸資産については、従来、移動平均法又は個別法による低価基準によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、移動平均法又は個別法による原価基準(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は、軽微であります。

②重要なリース取引の処理方法の変更

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。なお、リース資産総額に重要性が乏しいと認められるため、リース料総額から利息相当額の合理的な見積額を控除しない方法によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零(残価保証の取り決めがある場合は残価保証額)とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

この変更による総資産への影響は軽微であり、損益への影響はありません。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間から「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

なお、これによる損益への影響はありません。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から、機械及び装置の耐用年数を変更しております。

なお、この変更による損益への影響は、軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,473	14,191
受取手形及び売掛金	311,030	263,192
たな卸資産	100,687	92,982
その他	21,832	21,297
貸倒引当金	△995	△891
流動資産合計	447,028	390,772
固定資産		
有形固定資産		
土地	24,453	24,453
その他(純額)	18,051	18,288
有形固定資産合計	42,505	42,741
無形固定資産		
	797	808
投資その他の資産		
投資有価証券	44,662	31,443
その他	17,260	17,005
貸倒引当金	△717	△756
投資その他の資産合計	61,205	47,692
固定資産合計	104,508	91,242
資産合計	551,536	482,014

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	190,185	168,287
短期借入金	73,445	49,738
コマーシャル・ペーパー	30,000	17,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	4,845	4,813
賞与引当金	1,184	1,763
その他	33,547	29,416
流動負債合計	343,210	281,019
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	79,325	79,325
退職給付引当金	23	8
その他	11,804	10,735
固定負債合計	101,152	100,068
負債合計	444,363	381,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,651	45,651
資本剰余金	5	4
利益剰余金	56,189	51,028
自己株式	△137	△130
株主資本合計	101,708	96,554
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,793	5,397
繰延ヘッジ損益	99	143
土地再評価差額金	△16	△16
為替換算調整勘定	△2,131	△1,966
評価・換算差額等合計	4,745	3,557
少数株主持分	719	814
純資産合計	107,173	100,926
負債純資産合計	551,536	482,014

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	438,664
売上原価	419,101
売上総利益	19,562
販売費及び一般管理費	7,445
営業利益	12,117
営業外収益	
受取利息	274
受取配当金	475
その他	142
営業外収益合計	892
営業外費用	
支払利息	1,174
その他	608
営業外費用合計	1,783
経常利益	11,227
税金等調整前四半期純利益	11,227
法人税等	4,823
少数株主損失(△)	△25
四半期純利益	6,429

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	11,227
減価償却費	527
貸倒引当金の増減額(△は減少)	66
受取利息及び受取配当金	△749
支払利息	1,174
売上債権の増減額(△は増加)	△48,690
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,044
仕入債務の増減額(△は減少)	22,669
その他	1,644
小計	△20,176
利息及び配当金の受取額	707
利息の支払額	△882
法人税等の支払額	△4,883
営業活動によるキャッシュ・フロー	△25,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△212
有形固定資産の取得による支出	△914
有形固定資産の売却による収入	308
投資有価証券の取得による支出	△12,767
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,060
短期貸付金の増減額(△は増加)	96
長期貸付けによる支出	△10
長期貸付金の回収による収入	28
その他	221
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,189
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	27,430
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	13,000
長期借入金の返済による支出	△3,012
配当金の支払額	△959
その他	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	36,448
現金及び現金同等物に係る換算差額	46
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	69
現金及び現金同等物の期首残高	14,178
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,248

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

(百万円未満切捨)

	鉄 鋼	金属原料	非鉄金属	食 品	石油・ 化成品	その他	計	消去又 は全社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売 上 高	237,808	53,759	18,923	22,825	91,716	13,631	438,664	—	438,664
営 業 利 益	8,103	2,580	476	724	873	785	13,545	(1,427)	12,117

(注) 事業区分は、取扱商品によって区分しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(1) 四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨)

期 別 科 目	前第1四半期 (平成19年6月30日)		当第1四半期 (平成20年6月30日)		前連結会計年度 (平成20年3月31日)		前連結会計年度比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	増減金額	増減率
(資産の部)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
流動資産	428,114	81.5	447,028	81.1	390,772	81.1	56,256	14.4
現金及び預金	20,534		14,473		14,191		282	2.0
受取手形及び売掛金	292,325		311,030		263,192		47,838	18.2
たな卸資産	91,586		100,687		92,982		7,705	8.3
その他	24,633		21,832		21,297		535	2.5
貸倒引当金	△965		△995		△891		△104	11.7
固定資産	97,165	18.5	104,508	18.9	91,242	18.9	13,266	14.5
有形固定資産	41,086	7.8	42,505	7.7	42,741	8.8	△236	△0.6
土地	24,453		24,453		24,453		—	—
その他(純額)	16,633		18,051		18,288		△237	△1.3
無形固定資産	685	0.1	797	0.1	808	0.2	△11	△1.4
投資その他の資産	55,393	10.6	61,205	11.1	47,692	9.9	13,513	28.3
投資有価証券	40,841		44,662		31,443		13,219	42.0
その他	15,264		17,260		17,005		255	1.5
貸倒引当金	△713		△717		△756		39	△5.2
資産合計	525,280	100.0	551,536	100.0	482,014	100.0	69,522	14.4

(百万円未満切捨)

期 別 科 目	前第1四半期 (平成19年6月30日)		当第1四半期 (平成20年6月30日)		前連結会計年度 (平成20年3月31日)		前連結会計年度比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	増減金額	増減率
(負債の部)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
流動負債	297,880	56.7	343,210	62.2	281,019	58.3	62,191	22.1
支払手形及び買掛金	166,357		190,185		168,287		21,898	13.0
短期借入金	64,611		73,445		49,738		23,707	47.7
コマーシャル・ペーパー	40,000		30,000		17,000		13,000	76.5
1年内償還予定の社債	—		10,000		10,000		—	—
未払法人税等	2,169		4,845		4,813		32	0.7
賞与引当金	872		1,184		1,763		△579	△32.8
その他	23,869		33,547		29,416		4,131	14.0
固定負債	124,484	23.7	101,152	18.4	100,068	20.8	1,084	1.1
社債	10,000		10,000		10,000		—	—
長期借入金	98,937		79,325		79,325		—	—
退職給付引当金	8		23		8		15	187.5
その他	15,538		11,804		10,735		1,069	10.0
負債合計	422,365	80.4	444,363	80.6	381,088	79.1	63,275	16.6
(純資産の部)								
株主資本	89,204	17.0	101,708	18.4	96,554	20.0	5,154	5.3
資本金	45,651		45,651		45,651		—	—
資本剰余金	3		5		4		1	25.0
利益剰余金	43,663		56,189		51,028		5,161	10.1
自己株式	△113		△137		△130		△7	5.4
評価・換算差額等	12,931	2.5	4,745	0.9	3,557	0.7	1,188	33.4
その他有価証券評価差額金	13,161		6,793		5,397		1,396	25.9
繰延ヘッジ損益	485		99		143		△44	△30.8
土地再評価差額金	△16		△16		△16		—	—
為替換算調整勘定	△698		△2,131		△1,966		△165	8.4
少数株主持分	778	0.1	719	0.1	814	0.2	△95	△11.7
純資産合計	102,914	19.6	107,173	19.4	100,926	20.9	6,247	6.2
負債純資産合計	525,280	100.0	551,536	100.0	482,014	100.0	69,522	14.4

(2) 四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨)

期 別 科 目	前第1四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)		当第1四半期 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		前第1四半期比		前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	増減金額	増減率	金 額	百分比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売 上 高	379,274	100.0	438,664	100.0	59,390	15.7	1,507,509	100.0
売 上 原 価	365,587	96.4	419,101	95.5	53,514	14.6	1,456,627	96.6
売 上 総 利 益	13,687	3.6	19,562	4.5	5,875	42.9	50,881	3.4
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	6,622	1.7	7,445	1.7	823	12.4	27,176	1.8
営 業 利 益	7,065	1.9	12,117	2.8	5,052	71.5	23,704	1.6
営 業 外 収 益	1,148	0.3	892	0.2	△256	△22.3	2,936	0.2
受 取 利 息	295		274		△21		1,182	
受 取 配 当 金	496		475		△21		737	
そ の 他	356		142		△214		1,016	
営 業 外 費 用	1,456	0.4	1,783	0.4	327	22.5	5,373	0.4
支 払 利 息	1,265		1,174		△91		4,163	
そ の 他	190		608		418		1,209	
経 常 利 益	6,757	1.8	11,227	2.6	4,470	66.2	21,267	1.4
特 別 利 益	230	0.0	—	—	△230	△100.0	527	0.0
投 資 有 価 証 券 売 却 益	230		—		△230		527	
税金等調整前四半期(当期)純利益	6,987	1.8	11,227	2.6	4,240	60.7	21,795	1.4
法 人 税 等	2,482	0.6	4,823	1.1	2,341	94.3	8,638	0.5
少数株主利益又は少数株主損失(△)	20	0.0	△25	△0.0	△45	—	39	0.0
四半期(当期)純利益	4,484	1.2	6,429	1.5	1,945	43.4	13,117	0.9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)

科 目	期 別	前第1四半期	当第1四半期	前第1四半期比		前連結会計年度
		自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	増減金額	増減率	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
		金 額	金 額	増減金額	増減率	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		百万円	百万円	百万円	%	百万円
税金等調整前四半期(当期)純利益		6,987	11,227	4,240	60.7	21,795
減価償却費		486	527	41	8.4	2,055
貸倒引当金の増減額(△は減少)		17	66	49	288.2	△ 10
受取利息及び受取配当金		△ 792	△ 749	43	△5.4	△ 1,920
支払利息		1,265	1,174	△ 91	△7.2	4,163
投資有価証券売却損益(△は益)		△ 230	—	230	△100.0	△ 527
売上債権の増減額(△は増加)		△ 32,809	△ 48,690	△ 15,881	48.4	△ 4,642
たな卸資産の増減額(△は増加)		△ 3,299	△ 8,044	△ 4,745	143.8	△ 5,030
仕入債務の増減額(△は減少)		5,670	22,669	16,999	299.8	8,392
その他		△ 2,898	1,644	4,542	—	7,213
小 計		△ 25,601	△ 20,176	5,425	△21.2	31,489
利息及び配当金の受取額		728	707	△ 21	△2.9	1,915
利息の支払額		△ 953	△ 882	71	△7.5	△ 4,106
法人税等の支払額		△ 3,898	△ 4,883	△ 985	25.3	△ 7,868
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 29,725	△ 25,235	4,490	△15.1	21,430
投資活動によるキャッシュ・フロー						
定期預金の預入による支出		—	△ 212	△ 212	—	—
定期預金の払戻による収入		—	—	—	—	4
有形固定資産の取得による支出		△ 621	△ 914	△ 293	47.2	△ 3,992
有形固定資産の売却による収入		5	308	303	—	33
投資有価証券の取得による支出		△ 220	△ 12,767	△ 12,547	—	△ 5,118
投資有価証券の売却及び償還による収入		369	2,060	1,691	458.3	1,811
短期貸付金の増減額(△は増加)		△ 124	96	220	—	△ 247
長期貸付けによる支出		—	△ 10	△ 10	—	△ 14
長期貸付金の回収による収入		154	28	△ 126	△81.8	205
その他		99	221	122	123.2	△ 1,125
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 336	△ 11,189	△ 10,853	—	△ 8,443
財務活動によるキャッシュ・フロー						
短期借入金の純増減額(△は減少)		18,449	27,430	8,981	48.7	△ 15,760
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)		22,500	13,000	△ 9,500	△42.2	△ 500
長期借入金の返済による支出		△ 12	△ 3,012	△ 3,000	—	△ 50
社債の発行による収入		—	—	—	—	9,950
配当金の支払額		△ 1,069	△ 959	110	△10.3	△ 2,747
少数株主への配当金の支払額		△ 17	—	17	△100.0	△ 17
その他		△ 3	△ 9	△ 6	200.0	△ 19
財務活動によるキャッシュ・フロー		39,846	36,448	△ 3,398	△8.5	△ 9,144
現金及び現金同等物に係る換算差額		503	46	△ 457	△90.9	107
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		10,288	69	△ 10,219	△99.3	3,949
現金及び現金同等物の期首残高		10,228	14,178	3,950	38.6	10,228
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		20,517	14,248	△ 6,269	△30.6	14,178

(4) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日) (百万円未満切捨)

	鉄鋼	金属原料	非鉄金属	食品	石油・ 化成品	その他	計	消去又 は全社	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	187,229	63,219	18,410	24,262	69,505	16,646	379,274	—	379,274
営業利益	4,407	1,740	1,009	248	525	453	8,385	(1,320)	7,065

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日) (百万円未満切捨)

	鉄鋼	金属原料	非鉄金属	食品	石油・ 化成品	その他	計	消去又 は全社	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	237,808	53,759	18,923	22,825	91,716	13,631	438,664	—	438,664
営業利益	8,103	2,580	476	724	873	785	13,545	(1,427)	12,117

前連結会計年度(自平成19年4月1日至平成20年3月31日) (百万円未満切捨)

	鉄鋼	金属原料	非鉄金属	食品	石油・ 化成品	その他	計	消去又 は全社	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	790,340	202,019	65,344	84,671	311,480	53,652	1,507,509	—	1,507,509
営業利益	15,874	6,619	2,014	776	2,545	1,424	29,256	(5,552)	23,704

(注) 事業区分は、取扱商品によって区分しております。